

医学科志望者の グループ ディスカッション

2018/02/27

目的？

医学科志望の生徒に対して、将来の医師にふさわしい資質を養成する。

大学の先生や現場の医師の指導を受けながら広い視野で物事を捉え、自ら問題を発見し、その解決に取り組むなど、研究活動を通して医師にふさわしい資質を身につける場とするものである。

概要？

3人程度のグループで、設定したテーマに関して、図書館やインターネット、実際に働く先生方へのアンケート等を通じて、調査し、課題を発見し、その解決をまとめます。

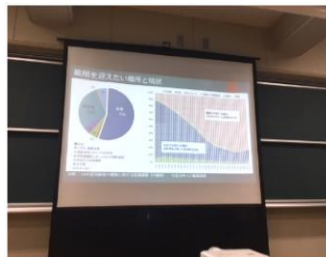
その後、プレゼンテーションを行い、ディスカッションを実施します。

課題例？

中間発表で、生徒が設定した課題をいくつか紹介します。



- ・旭川の在宅医療を普及させるには？
 - ・北海道の遠隔医療について
 - ・日本における認知症患者の現状とその対策
 - ・健康寿命と平均寿命の差
 - ・医師の偏在に対する現在の動き
- などです。



当日の様子

旭川医科大学の坂本教授をお迎えし、進捗状況の報告を兼ねての中間発表でした。それぞれの発表が終わるごとに、疑問点や改善すべき点について、生徒は積極的に意見交換をしました。スライドのレイアウトからデータ分析、論理展開において筋が通っているかということまで、改善すべき点がたくさん見つかり

ました。それぞれの班の研究発表は学術性が高く、お互いの発表から新たなことが学べ、充実した取り組みになりました。

3時間という長丁場ではありましたが、時々笑いがあり、厳しく活発な議論の中でも和やかな雰囲気がありました。

この取り組みを通して、皆で成長していこうという結束力も強まりました。教授からの助言や高い評価をいただき、自信にもつながったようです。生徒は3月末の本番に向けて、引き続き研究を続けます。

